

# 「指導と評価の一体化」を実現 ～リーディング・スクールの実践から～

## 指導と評価で学びが変わる!! 明日から役立つ授業改善のヒント

「指導と評価の一体化」とはということ？  
👉 **ポイント①へ！**



評価活動でICTをどのように活用  
するといいの？  
👉 **ポイント②へ！**

主体的に学習に取り組む態度を評価  
するとき大切なことは？  
👉 **ポイント③へ！**

自己調整力や自己評価力を育成する  
ためにはどうすればいいの？  
👉 **ポイント④へ！**



本資料で紹介しているリーディング・スクールの実践は、一部  
です。実践の内容が詳しく分かるこちらの資料もぜひ参考にし  
てください！

【URL】 <https://www.gifu-net.ed.jp/tmd/kensyu/kenshu/2024youkou/g102030>



**ポイント①**

**「指導と評価の一体化」とはということ？**

目標の実現のために、指導した結果を評価し、評価した結果を指導に生かす

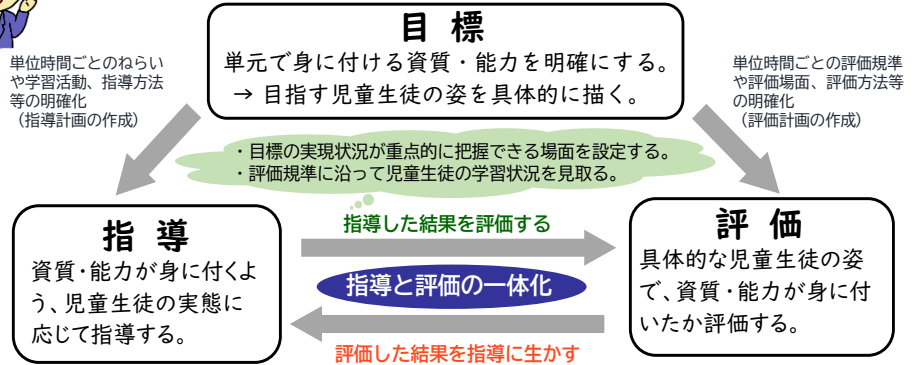
学習指導要領を踏まえ、単元の**目標**を明確にし、その実現に向けて、「**指導と評価の計画**」を作成します。それを基に、**指導した結果を評価し、評価した結果を指導に生かす**営みこそが「**指導と評価の一体化**」です。

教師は、授業の中で、**児童生徒の学習状況を見取り、その場ですぐに指導・支援するなど、即時的にフィードバック**することが大切です。ここでの評価は、**ゴールではなく、次の指導へのスタート台**と言えます。



単位時間ごとのねらいや学習活動、指導方法等の明確化  
(指導計画の作成)

**【目標と指導と評価の関連性】**



- ・つまづいている児童生徒へ指導・支援(助言、問い返し等)する。
- ・優れた考えや考え方を価値付け・意味付けする。
- ・次の時間、次の単元で指導改善を図る。



**ポイント②**

**評価活動で ICT をどのように活用するといいの？**

画面収録で思考・判断・表現を「見える化」する

(関ヶ原町立関ヶ原小学校)

関ヶ原町立関ヶ原小学校では、具体的な児童の姿をイメージしながら**終末からの授業設計**を大切に、**ICTを活用した「思考・判断・表現」の評価**の在り方に重点を置いて実践しました。

算数科の実践では、評価問題において「9+2」の計算の仕方をブロック操作とつないで説明できているかを見取るために、**タブレット端末の画面収録機能**を活用しました。これにより、**本時の目指す姿が表出される評価活動**となりました。

**終末からの授業設計**

- ④ ③の追究活動を支える、単元を通した見届けと意図的な指導を行う。
- ③ ②で学ぶ姿が表出されるように、個に応じた即時的な評価と指導を行う。
- ② ①で目指す姿が表出される評価活動を設定する。
- ① 出口の「おおむね満足(B)」の姿、「十分満足(A)」の姿を具体的に子どもの姿で描く。

**「思考・判断・表現」の評価**

- 記述でこそ分かること
- 動的にしか分からないこと → **見える化**
- ・操作の手順
- ・記述に不慣れな児童の思考



<画面収録>

写真や振り返りをデータ化して「見える化」する

(可児市立西可児中学校)

**教師にとっての「見える化」**

**生徒にとっての「見える化」**

**実践例【保健体育科】**



自己の変容

生徒作成画像



思考の変容

生徒作成Yチャート

**学びの自覚**

可児市立西可児中学校では、妥当性・信頼性のある評価にするために、指導と評価の計画や実際の学習活動において、**生徒や教師の立場から「見える化」するとよい観点**を整理しながら評価活動の工夫を行いました。

保健体育科の実践では、**学びの自覚を促すことができるよう、自己の変容(思考の変容)をICTを活用して、「見える化」**しました。左図のYチャートは、「チームのよさ」「チームの課題」「仲間のよさ」の3観点から毎時間の振り返りを蓄積したものです。これにより、**自己の高まりや仲間の成長を実感することへつなげました。**





## ポイント④

# 自己調整力や自己評価力を育成するためにはどうすればいいの？

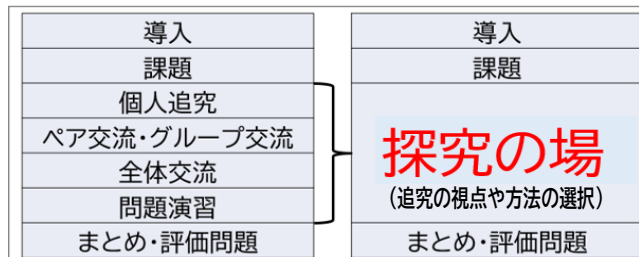


### 課題解決に向けて追究の視点や方法を選択できるようにする

(高山市立日枝中学校)

高山市立日枝中学校では、驚き、迷い、矛盾、疑いを生み出す導入から、探究につながる課題を設定し、生徒が自己調整する必然を生み出すことを大切にしています。

数学科の実践では、右図のように個人追究、ペア交流・グループ交流、全体交流、問題演習の時間の区切りを無くし、大きなまとまりの時間として「探究の場」を設定し、追究する視点や方法を選択できるようにしました。探究の場では、教師から「はてな?」「わかった!」「ということは!？」の3つの思考段階を提示し、それぞれの段階で生徒は自己評価と自己調整を繰り返しながら課題解決に取り組むことができました。



例題はどんな意味だろう？



はてな?

ということは!?

わかった!



場面が変わったけど、同じようにできるよ!



### 自己調整する過程を表出・記録できるようにする

(岐阜市立加納小学校)

#### 実践 ~1年生 国語科「じどうしゃくらべ」~

評価規準に至った児童



録音した 児童の振り返り

「僕は、最初と考えが変わりました。どうかという、友だちと話して、シャッターは高い所の人を助けることと関係ないし、長いはしががないと高い所の人を助ける仕事ができないと思ったからです。」

<教師の評価>

振り返っていることと、学びの記録をあわせて見取することで、妥当性を高める。

岐阜市立加納小学校では、児童が自己調整する過程を表出・記録できるワークシートを工夫しています。

国語科の実践では、左図のように板書の写真を児童のタブレット端末上に送り、はしご車の「しごと」に合うと思う「つくり」について、「さいしょ」の欄に初めの自分の考えとして印を付け、次に「なかま」の欄に仲間の考えとして印を付けました。さらに、「さいご」の欄に最終的な考えとして印を付けることで、視覚的に自分の考えの変容を捉えやすくなりました。終末では、タブレット端末に振り返りを録音し、見取することで、評価の妥当性を高めました。

## 令和5～7年度 「指導と評価の一体化」による学習評価の充実・推進事業

### 令和6年度 リーディング・スクール

【小学校】

岐阜市立加納小学校、関ヶ原町立関ヶ原小学校、中津川市立南小学校

【中学校】

岐阜市立加納中学校、美濃市立美濃中学校、可児市立西可児中学校、高山市立日枝中学校

### 「令和6年度 指導と評価の一体化 実践発表会」のオンデマンド配信のお知らせ

令和7年2月7日(金)にオンラインで開催した「令和6年度 指導と評価の一体化 実践発表会」において、リーディング・スクールが実践の成果や課題を発表しました。当日の様子をオンデマンド配信していますので、ぜひ視聴してください。

【URL】 <https://gon.webex.com/gon/ldr.php?RCID=44e3f5376d1fbb529ac8d94457f7f1b9>

【PW】 j2RycaeBD45

※校内研修以外での二次利用やSNSへのアップ等は、個人情報保護の観点から厳に慎んでください。



令和7年3月 発行  
岐阜県教育委員会 義務教育課

